

Fuji Champion Race Series Round 1

86&BRZ/AE86/MR2/NA1600/SILVIA-180
Round 1

今シーズンから86&BRZクラスも混走となり、6クラスで争われることになったこのカテゴリーが第1戦最初のレース。朝一番の予選でトップタイムを出しポールポジションの座を獲得したのはNA1600 37 四季の森歯科IDIウィナー86 秋元優範で1'57.175のタイム。フロントローには昨シーズンチャンピオンの12 なかむらともきが並ぶ。NA1600から12グリッド空けてシルビアのトップは11 REXCELまつおかシルビア 大山雅樹 1'59.987、その後ろにはMR2トップの78 ダイエーモータースDXLMR2 谷田伸行、AE86クラストップ 40 AS柳本SPMアクレ86レビン 柳本文彦 86&BRZ 77 RS PANTERA 86 山内正義といった各クラス入り交ぎってのスターティンググリッド。決勝では37 秋元と昨年のチャンピオン12 SPM☆CSヒロPFCカローラ なかむらともきの激しいトップ争いが続くが、7周目37秋元がトップに立つとその差を徐々に引き離し、そのままトップチェッカーを受けた。シルビアは11大山、MR2は78 谷田、86&BRZは山内が逃げ切り、AE86は一周目に240 ガレージアネックス・μ・レビン 山口崇がトップに出てそのまま優勝した。

RESULT リザルト SILVIA-180

Rank No. Name

1 11 大山 雅樹



RESULT リザルト AE86

Rank No. Name

1 240 山口 崇

2 40 柳本 文彦

3 36 大石 重之

4 41 中村 徹

5 48 深沢 泰司



RESULT リザルト MR2

Rank No. Name

1 78 谷田 伸行

2 34 奥田 達也

3 25 藤永 雅彦



RESULT リザルト NA1600

Rank No. Name

1 37 秋元 優範

2 12 なかむらともき

3 73 小宮 伸介



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No. Name

1 77 山内 正義

2 53 浅野 哲夫

3 23 前川 佳紀

4 47 落合 立成

5 05 稲田 昌文

6 31 福田 憲司

Super FJ
Round 1

FJ1600のエントリーが無かったため、S-FJのみで行なわれた第1戦。開幕戦予選でトップタイムを出したのは45 ガレージ茶畑10VED CHANG LUTAO 1'51.777と唯一51秒台を出してのポールポジション。フロントローには36 アルビGIA玉三郎ED10V 深村匠が1'52.121で並ぶ。スタートからこの2台に3番手スタートの19 ZAPSPEED 10VED 小松圭佑が加わり3台が激しいトップ争い、序盤では36 深村がトップを押さえるも7週目にストレートのコントロールライン上で19 小松が前へ。その後もしばらくはコンマ差のバトルが続くが、レース終盤になり徐々に間隔が開いていき、12週のレースを制したのは19 小松圭佑。続いて36 深村、45 CHANG LUTAOの順でチェッカーを受けた。レース後19 深村は「カートはやっていましたが、初めてのレース出場で初ウィン！昨日エンジンの調子が悪くて昨晩は3:00頃までメカニックさん達が頑張って組みなおしてくれたマシン。この優勝はメカさんたちのおかげです。本当に嬉しいです」と話していた

RESULT リザルト Super FJ

Rank No. Name

1 19 小松 圭佑

2 36 深村 匠

3 45 CHANG LUTAO

4 51 RAIDEN

5 20 kosuke kano

6 22 赤堀 憲臣



AE111/ROADSTER Round 1



AE111とロードスターNA6は今シーズンも混走レースとなっている。朝の予選でポールポジションを決めたのはAE111 78 MAS91K/F・IDIトレ 窪田範明 2'02.106のタイム。ロードスターNA6では2'09.164で43アクレC-iロードスター 大井正伸がトップ、隣には昨シーズンチャンピオンの1 コーンズIDIロードスターの大野俊哉が並ぶ。10週の決勝はポールスタートの78窪田が終始トップを押さえてはいるが、背後にはフロントロースタートの91 mas・IDI・DL・レビン 船木周一がコンマ差で後ろにつき、激しいトップ争いを繰り広げたが、0.2秒差で78 窪田が逃げ切ってフィニッシュ。NA6も激しいレース、1周目でトップに立った1 大野に2 雨宮恵司、24 田辺良輔、81 安達陽平 43 大井らがコンマ差で追い回す。24 田辺も一時トップに立つが1大野が奪い返すといった最後まで目の離せないレースが続き、最初にチェッカーを受けたのは1 大野だった。レース後78窪田は「チャンピオンカーで臨んだので負けるわけにはいかないし、船木さんはぴったり付いてくるし苦しいレースでした」 また、1 大野は「タイヤのチョイスにも悩み、大変なレースでした」とコメント

RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	78 窪田 範明
2	91 船木 周一
3	18 塩岡 雅敏
4	32 松川 智泰

RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	1 大野 俊哉
2	24 田辺 良輔
3	2 雨宮 恵司
4	81 安達 陽平
5	43 大井 正伸
6	4 武居 剛

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE/8Beat Round 1



ロードスターカップNC、デミオ、8Beatとナンバー付きクラスの第1戦、予選で総合トップになったのは8Beat JP-2S 12 UZURA・RACING 86 ウズラ 2'04.112。NCはオープンクラスの64 Joy☆アクレMoty'sNC 芝本淳が2'07.263でトップ。デミオでは昨シーズンのチャンピオン75 145デミオ改withSKR 西山隆 2'18.357でトップからのスタートとなった。決勝ではコースの所々で少し雨が落ちてきているようだ。1周目にトップに躍り出たのは3番手からスタートの8Beat JP-2S 05 SPVレーシング 稲田昌文、JP-2RトップのプロコンボジットBLITZ86 武井寛史と最後まで激しい戦いの末トップチェッカーを受けた。各クラス優勝者のコメントは8Beat 05 稲田「天気が出てくれて勝つことが出来ました」NCチャレンジ18 JOYmotysロードスター らんまん「初めての優勝でとても嬉しい、86に引っ張ってもらいました」NCオープン 64 芝本「2013年最終戦以来1年ぶりなのでとても嬉しい！」デミオ 75 西山「楽しかった！34常盤さんも戦闘力がアップしてきているしね」

RESULT リザルト RSC NC-0

Rank No.	Name
1	64 芝本 淳
2	8 菊池 聡
3	16 横山 護
4	80 染谷 浩一
5	7 高橋 裕史

RESULT リザルト RSC NC-C

Rank No.	Name
1	18 らんまん
2	70 内海 利明
3	22 中桐 孝治

RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	75 西山 隆
2	34 常盤 岳史
3	55 町田 垂矢
4	21 新井 敏克
5	51 戸田 和彦
6	5 里見 景一
7	9 吉田 真

RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	05 稲田 昌文
2	12 ウズラ
3	08 AKKY
4	14 石井 尚顕

RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	77 佐藤 圭
2	6 坂本 猛彦
3	136 リュウザプロウ
4	1 木幡 修一郎

RESULT リザルト 8Beat 2R

Rank No.	Name
1	99 武井 寛史
2	88 古田 聡

ROADSTER CUP NA6/NA8/NB8 Round 1



ロードスターカップNA6/NA8/NB8は違うクラスの間でも毎回争いが入り乱れ、激しいバトルが展開されるクラス。今シーズンも熱い戦いが続きそうだ。予選トップタイムはNA8 88 なおしおるぐアクレNA8 山田健介 2'06.811。フロントローにはNB8トップの11 JoyアクレMotys☆NB8 戸田裕一が2'06.894で並ぶ。NA6トップは23 JoyアクレMotys☆NA6 山川穰 2'07.890。決勝は予想通りの激しいレース展開で、レース中盤まで11戸田がトップに立つものの、6周目には3番手スタートのNA8 1 大山ベリリアクレMotyNA8 山形卓がトップに出る。11戸田とはコンマ差で先にチェッカーを受けた。NA6では23 山川と7 大山ベリリアクレMotyNA6 茂木文明との激しいトップ争い。8週のレースを制したのは7 茂木だった。レース後NA8 1山形は「今日はやられると思った。転動で山形へ引越してしまい、ここまで通ってきているので負けられない」と話しNB6 11 戸田は「総合取れなくて悔しい。全勝を目指します」NA6 7 茂木は「半年振りの表彰台で嬉しいです」



RESULT リザルト NA6

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	23 山川 穰
3	5 入江 直
4	76 辻本 均
5	27 野木 強
6	10 櫻園 弘



RESULT リザルト NA8

Rank No.	Name
1	1 山形 卓
2	88 山田 健介
3	0 小原 健一
4	81 松波 太郎



RESULT リザルト NB8

Rank No.	Name
1	11 戸田 裕一
2	91 神谷 誠
3	78 赤石沢 清人
4	22 山平 健太郎
5	75 澤田 薫
6	3 羽入 大輔

N1400/N1000/DEMIO(N1) Round 1



今シーズンも激戦が予想されるこのクラスで、予選でポールポジションを決めたのはN1400 72 アレスQSグローバルμ82 高橋ノボル 2'09.408のタイム。N1000トップは41 マルチ1プラクトヴィッツ 佐藤英二 2'18.647。デミオはコースレコードを更新して103 N1デミオは永遠に不滅ですWM R.P.M/H 2'20.842というスターティンググリッドとなった。決勝では最初から各クラストップ争いが激しく、一旦3位に下がった72 高橋が4周目にまたトップを奪い返し、最後まで好バトルを繰り広げて最初にチェッカーを受けた。N1000クラスも接戦の末、最終ラップ1コーナーで前に出た2 IDI・西砂タイヤ・Vitzが優勝。デミオは103 R.P.M/Hが優勝した。レース後72 高橋は「最終コーナーで何とか並んで前に出られたけれど、後半はもうタイヤを使い切っていました。マシンを作り変えて臨んだので勝てて嬉しい」2 あおきは「1〜2周目では離されてしまったけれど、手伝ってくれた方々のことが頭をよぎり、頑張って最後の一周で前に出られました」コースレコードを更新した103 R.P.M/Hは「セッティングが決まった！」とコメントしている



RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank No.	Name
1	103 R.P.M/H



RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	72 高橋 ノボル
2	78 大沢 雄哉
3	91 上山 敦裕
4	222 小野田 篤士
5	23 高田 尚忠
6	33 船木 宏



RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	2 あおき みのる
2	54 垣生 彬
3	41 佐藤 英二
4	49 菅野 良男
5	51 清水 悠祐
6	24 佐藤 和洋

SUPER CAR RACE Round 1 & 2



全10戦で行われる今シーズンのSUPER CAR RACEは第1戦・第2戦が富士チャンピオンレースとの併催で行なわれる。まずAドライバーの予選結果で第1戦のグリッドが決まり、スタートドライバーはAドライバーが務め、Bドライバー予選結果で第2戦のグリッドが決まるレギュレーションとなり、トップカテゴリーに参戦しているプラチナドライバーがいるチームには、ドライバー交代時に15秒のピットストップが加算される。第1戦のポールはFIA-GT3車両のⅠクラス91 BuddyClub-FIST-BMW-Z4-GT3のJun San Chen 1'41.920。ワンメイク車両のⅡクラスは52 Evevtddec Gallardo 上野嘉三 1'45.121。第2戦はⅠクラスが92 BuddyClub-HUB BMW-Z4-GT3 吉本大樹 がレコードタイムの1'39.966、Ⅱクラスは51 PICOLE Ferrari 458 竹内浩典 1'43.335という予選結果となった。第1戦決勝ではトップを押さえていた91が快走を重ねるが、残り3分で92がトップに立ち優勝した。92 吉本は「Chenが好ポジションで渡してくれたので、上手くいきました」Chenは「明日もこの調子で頑張ります」と話している。Ⅱクラスは52 上野嘉三/田畑勇組が優勝した。翌日の第2戦決勝ではトップを守る 92 に3番手スタートだった70 OLIVE SPA 458GT3 NAORYU/佐々木孝太組が24周目にトップに立ち、そのまま逃げ切った。Ⅰクラスは73 TEAM NAORYU458 船井俊仁/東徹次郎組が優勝。TEM NAORYUがどちらのクラスも制覇した。

Round 1



RESULT リザルト Category I

Rank No.	Name
1	92 Morris Chen/吉本
2	32 Tetsuo Ogino/飯田
3	70 NAORYU/佐々木
4	91 Jun San Chen/Yu Lam
5	93 Chi Huang/谷川

RESULT リザルト Category II

Rank No.	Name
1	52 上野/田畑
2	73 船井/東
3	14 Takamori博士/田中
4	47 多田/吉田
5	36 林 学/林 裕介

Round 2



RESULT リザルト Category I

Rank No.	Name
1	70 NAORYU/佐々木
2	92 Morris Chen/吉本
3	91 Jun San Chen/Yu Lam
4	93 Chi Huang/谷川

RESULT リザルト Category II

Rank No.	Name
1	73 船井/東
2	7 Ken Seto/浅井
3	52 上野/田畑
4	14 Takamori博士/田中
5	36 林 学/林 裕介
6	47 多田/吉田

LOTUS Cup Japan 2015 Round 1



ここ富士スピードウェイとツインリンクもてぎで全5戦行われる今シーズンのLotus Cup Japan。開幕戦となったこの大会は、賞典外なっているが吉本大樹が参戦。予選では1'56.750のトップタイムでポールポジションからのスタート。2番グリッドは23 ロータス横浜チームロケット23 鳥羽豊 1'57.785、3番グリッドには22 ロータス横浜チームロケット22 遠藤力也となっている。決勝では2周目に22 遠藤がトップに立つが7周目には2吉本に抜き返された。10週のレースでトップチェッカーを受けたのは2 吉本、22 遠藤、55 草野の順でチェッカーを受けた。Class2は35 BMAスマイル HK2-11 大澤明仁、Class3は10 キングログエリーゼ 能見謙司、最後までトップ争いが激しかったClass4は11 ACm Tipo Elise 佐藤孝洋が優勝した。22 遠藤は「途中で4速に入らなくなってタイムが落ち、苦しかったです。その後入るようになって吉本選手にくらいついていかれて嬉しかった」と話していた。



RESULT リザルト Class 1

Rank No.	Name
1	22 遠藤 力也
2	55 草野 誠二
3	23 鳥羽 豊
4	3 山田 弘樹
5	19 松葉 育郎
6	24 谷口 尚央

RESULT リザルト Class 3

Rank No.	Name
1	10 能見 謙司
2	5 大森 慎也



RESULT リザルト Class 2

Rank No.	Name
1	35 大澤 明仁
2	7 内村 正史
3	25 青山 繁晴



RESULT リザルト Class 4

Rank No.	Name
1	11 佐藤 孝洋
2	16 秋葉 有一
3	4 大屋 彰利